

<TPP11に伴う農畜産物の生産額への影響（帯広市）>

種別	生産額 (百万円)	生産量 (t)	減少額 (百万円)	減少率	備考	<参考1>	<参考2>	
						前回の試算 減少額 (百万円)	北海道 減少額 (百万円)	
耕種	小麦	2,109	42,080	147 ~ 328	7.0% ~ 15.6%	・全て競合するものとして算出	327	1,900 ~ 4,300
	豆類 (小豆) (いんげん) 小計	1,706	4,751	0	0.0%	・いずれも競合せず、影響はないと想定	0	0
		278	993	0	0.0%		0	0
		1,984	5,744	0	0.0%		0	0
	でん粉原料作物	1,273	5,776	0	0.0%	・TPP11参加国からの馬鈴しょ澱粉の輸入実績がないことから、影響はないと想定	92	0
	砂糖	7,458	37,292	265	3.6%	・競合はしないものの、加糖調製品等の関税割当設定等による価格下落や高糖度原料糖の調整金減額削減により減少するものとして算出 *生産量は制度対象外のみ、生産額は制度対象分も含む	261	3,600
	米(道のみ)							0
	加工用トマト(道のみ)							0
りんご(道のみ)							(7~15)	
計	12,824	—	412 ~ 593	3.2% ~ 4.6%		680	5,500 ~ 7,900	
畜産	牛乳乳製品	3,958	44,879	233 ~ 358	5.9% ~ 9.0%	・牛乳乳製品の各品目(チーズ、バター、生クリーム等)については、道の比率で按分 ・飲用牛乳を含む全生産量及び生産額については市独自の調査によるもの	228 ~ 328	18,200 ~ 28,000
	牛肉	1,220	1,094	80 ~ 160	6.6% ~ 13.1%	・出荷頭数に枝肉換算430kg/頭(と畜場資料)、部分肉換算率70%で按分 ・道内格付(肉質等級)の割合で競合するものと、競合しないものとで按分し、それぞれが一定程度下落するものとして算出	85 ~ 171	4,700 ~ 9,400
	豚肉	533	904	19 ~ 39	3.6% ~ 7.3%	・出荷頭数に枝肉換算73kg/頭(と畜場資料)、部分肉換算率70%で按分 ・銘柄豚はいないため、全て競合するものとして算出	20 ~ 39	900 ~ 1,700
	鶏卵	23	118	0	0.0%	・取扱はあるが少量、影響はないと想定	0	0
	鶏肉(道のみ)							0
計	5,734	—	332 ~ 557	5.8% ~ 9.7%		333 ~ 538	23,800 ~ 39,100	
合計	18,558	—	744 ~ 1,150	4.0% ~ 6.2%		1,013 ~ 1,218	29,300 ~ 47,000	

<主な試算方法>

- 北海道の試算方法、単価(H30年2月試算時の単価、また「牛乳乳製品」を除く)などに即して、農畜産物の生産額の影響を試算。
- 品目ごとに輸入品と競合する部分と競合しない部分に二分し、それぞれの影響について算出。  
\*対象とした農畜産物は、北海道が試算した13品目とした。  
\*生産量は、市のH25年~H27年の平均、生産額は「牛乳乳製品」以外は道と同じ単価で算出、「牛乳乳製品」は市独自の調査によるもの。

<生産額と農業産出額との違い>

- 今回試算した生産額 18,558百万円は、北海道が使用した単価に基づいて再計算していること及び経営所得安定対策交付金 約6,200百万円、影響を受けないとされるその他野菜 約5,600百万円などを